

労働保険 概算・増加概算・確定保険料 申告書
石綿健康被害救済法 一般拠出金

継続事業
(一括有期事業を含む。)

字体 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
第1回記入に当たっては注意事項をよく読んでから記入して下さい。
OCR等への記入は上記の標準字体にてお願いします。

提出用

平成19年 7月 2日

あて先 〒

労働保険番号を記入

労働局
労働保険特別会計歳入徴収官殿

(注2)(注1)
行繕による健康被害者の救済に関する法律第35条第
一般拠出金は延納できません

種別 31700 ※修正項目番号 ※入力確定コード
① 労働保険番号
② 増加年月日(元号:平成は7)
③ 事業廃止等年月日(元号:平成は7) ※事業廃止等理由
④ 常時使用労働者数
⑤ 雇用保険被保険者数
⑥ 免除対象高年齢労働者数 ※保険関係※片保険理由コード

※各種区分
管轄(2) 保険関係等 業種 産業分類

その年度での一日平均使用労働者数
(臨時・日雇を含んだ年間延使用労働者数÷年間所定労働日数)
「労働保険関係成立届」と同じ人数になる

算定期間 平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
⑧ 保険料・拠出金算定基礎額
⑨ 保険料・拠出金率
⑩ 確定保険料・一般拠出金額 (⑧×⑨)

(ロ)と(ホ)が同じ場合は、(イ)のみに記入
(ロ)(ホ)が異なる場合は、(ロ)から(ホ)まで記入
労災保険のみの保険関係なら(ロ)に記入
雇用保険のみの保険関係なら(ハ)から(ホ)まで記入

⑫ 保険料算定基礎額の
見込額×⑬ 保険料率
(千円未満の端数は切り捨て)

概算・増加概算保険料算定内訳
⑭ 概算・増加概算保険料額 (⑫×⑬)
⑮ 保険料率
⑯ 概算・増加概算保険料額 (⑫×⑬)

(ロ)(ホ)の両方記入した場合は、その合計額を(イ)に記入
(ロ)(ホ)どちらかのみであれば、その額を(イ)に記入

各期の納付額を記入
2期、3期に1円か2円の端数が出る場合、その端数は1期に加算する。
415,000円を3回で納付する場合、1回目:138,334円 2, 3回目:184,333円となる

概算保険料を延納する場合、納付回数を記載
ただし、概算保険料が40万円以上の場合(労災保険または雇用保険の保険関係のみであれば20万円以上)保険関係成立日が4/1~5/31なら3回、6/1~9/30なら2回、10/1以降は1回のみ延納可

⑰ 延納の申請納付回数
⑱ 申請済概算保険料
⑲ 申請済概算保険料
⑳ 増加概算保険料
㉑ 納付額
㉒ 納付額
㉓ 納付額
㉔ 納付額
㉕ 納付額
㉖ 納付額
㉗ 納付額
㉘ 納付額
㉙ 納付額
㉚ 納付額
㉛ 納付額
㉜ 納付額
㉝ 納付額
㉞ 納付額
㉟ 納付額
㊱ 納付額
㊲ 納付額
㊳ 納付額
㊴ 納付額
㊵ 納付額
㊶ 納付額
㊷ 納付額
㊸ 納付額
㊹ 納付額
㊺ 納付額
㊻ 納付額
㊼ 納付額
㊽ 納付額
㊾ 納付額
㊿ 納付額

記名押印または
自筆による署名



きりとり線(1枚目はきりはなさないで下さい。)

領収済通知書 (労働保険) (国庫金) (記入例) ¥0123456789

以下、省略